

数千の韓国民が米ミサイル防衛システムに抗議

【訳者注】このミサイル防衛システムなるものは、ポーランドやルーマニアにもすでに設置され、米-NATO は“防衛”のためだと言うが、これはごく簡単に攻撃用ミサイルに切り替えられるものであることを、ロシアのプーチン大統領自身が、細かく説明している。この韓国の THAAD もそういうものに違いない。のみならず、プーチンは、アメリカが現在開発中のミサイルの射程距離が改善されるのが、何か月先になるはずだから、その時がロシアには最も怖い、とまで記者団に語っている。

一方、アメリカは、韓国や日本に対して、“防衛上”ますます露骨な属国扱いをするようになるだろう。

RT (Russia Today)

July 13, 2016



数千の韓国居住者が「サード（THAAD）配置決死反対」と書かれた旗を掲げて、2016年7月13日、ソウル南東217キロのソンジュにおいて、アメリカの建設する「ターミナル高度領域防衛システム」（THAAD）配置計画に反対のラリーを行った。

韓国軍は、北朝鮮からの脅威を防止するためだという、THAAD、対ミサイル防衛システムの設置場所を発表した。この計画は、地域の自治政府をひどく怒らせ、何千という韓国民が街路に出て抗議集会を行った。

ソウルとワシントンは、このシステムは、この地域の脅威に対するためと、そこに駐屯する米軍を護るためという、2つの目的があると言っている。それはアメリカの多層的防衛システムの中心的要素を形成している。しかし地方住民は、これが健康の悪化を招き、農業にも悪影響を及ぼすことを恐れている。このシステムの高性能レーダーは、地方の噂では、不妊や癌につながるとされるが、政府は“根拠がない”と一蹴した。最初、約 3,000 人が、土曜日、米援助による、「ターミナル高度領域防衛システム」THAAD についての前日の発表のあと、道路に繰り出した。これは、設置場所に最もふさわしいと考えられていた、チルゴク郡でのことで、抗議行動はそれ以来続いている。

しかし水曜日、政府は、この場所が、ソウル南東約 217 キロの慶尚北道ソングジュ郡であると明かした。

「韓国とアメリカの共働グループは、慶尚北道ソングジュ地域を、配置の最適地として提唱し、…国の防衛関係省庁もこれを承認した」と、国家防衛省政策担当副長官ヨー・ジェスンが、水曜日、通告したことを、ヨナップ・ニュースは伝えた。

これが原因で、ヨナップによれば、少なくとも 5,000 人の農家が抗議に集まった。反対運動があまりにも激しく続き、役人のある者たちは、ハンストに入っている。これに続いて、キム・ハンゴン郡知事は、自らの血書をもってソウルに抗議した、と同席者は言っている。

「我々は命をかけて Thaad に反対している！」と、地域住民たちは、その意味の言葉を書いた旗を掲げて連呼した。

「もし我々が Thaad に大事な土地を取られたら、ご先祖様にも子孫にも顔向けできない」と知事は、そのほとんどがメロン農家である集会出席者に語った。人口約 5 万のこの郡は、韓国のメロンの 60 パーセントを供給している。

彼らはまた、彼らの家の近くに Thaad を設置するという決定は、地方行政との「公平で透明な」話し合いなしに行われたのだから、無効であると主張している。

「私は初め、ソングジュが Thaad に土地を提供すると聞いたとき、驚きで倒れそうだった。事前の通知というものが全くなかったからね」と、イ・スンビン (35) はヨナップに話した。

「(政府は) この町は人口が少ないという理由で、ここに設置を進めているのだ。Thaad に健康上のリスクはないと言っているが、信じられない。今、私はこの町を離れようと思っている。」

関連記事：「モスクワが、アメリカの、韓国へのミサイル防衛システム設置の動きに対し、“危険な将来の結果”を警告」

<https://www.rt.com/politics/350152-moscow-warns-of-dangerous-consequences/>

町の指導者や知事を合わせて総勢 200 人ほどが、5,000 人の群衆から別れて、ソウル行きのバスに乗り込んだ。そこで彼らは、前日から、集会センターの外で抗議を続けている。この場所は防衛省の持ち物になっている。

アメリカと韓国は、2017 年後半までに、この砲台の設置完了を目指している。この最近の抗議の波は、その計画に支障をきたすだろう。過去においても、アメリカの基地をめぐる集団行動が、政府にとって長引く難題をもたらしたからである。

にもかかわらず、ほとんどの韓国人は THAAD に賛成し、ピョンヤンの脅威がより大きな問題だと信じている。しかし多くの人々が、自分たちの国土にこのシステムを据え付けることは、北朝鮮や、更に向こうの中国との緊張に、火をつけることになると考え続けている。

中国は、このシステムの主たる標的は彼らであって、北朝鮮ではないと主張している。

ロシアもまた、THAAD 反対の声をあげ、それは、この地域の不安定化をもたらすだけだと言っている。

先週金曜日の合意の発表以来、将来の可能な設置場所としてあげられている、あらゆる地方で、抗議が起こっている。

この兵器システムの現在の場所は、韓国空軍のレーダーと軍事基地の近くの、ソンジユの山の天辺になるだろう。政府がこの場所に決定したのは、北からの攻撃があった場合、韓国は、自国民の 3分の2 を守ることができるという考えによる。